

企業理念

地域社会の発展を常に考え行動すること これが私たちの事業です。

私たちは地域の一員としての責任を自覚し、広く皆さまとの信頼関係を深め、地域繁栄の担い手になりたいと考えています。そのために金融サービスの向上に努め、さらに活動分野を拡げながら健全な成長を続けます。そして産業・文化の発展と豊かな生活づくりのお役に立ちたいと願っています。

お客さまとの創造的な関係を深めること これが私たちの仕事の原点です。

私たちはお客さまとの心のきずなを大切にし、お客さまにとって何が最良なのかを考え創りだしていきます。そのために何をすればよいのか、私たちの仕事はここから始まります。お客さまとともに未来を築いていく、これが私たちの願いです。

よき企業人であるためによき市民であること これが私たちの活動の基本です。

私たちはよき市民でありたいと思います。それが皆さまから共感と信頼を得られる第一歩となります。そのために良識を大切にし、社会における役割を積極的に果たしてまいります。私たちはよき市民として日々の仕事に取り組んでいきます。

一人ひとりの顔が見える表情豊かな組織であること これが私たちの大切にしている企業風土です。

私たちは個性を生かした活力あふれる組織を創ります。そのためにお互いの人間性を尊重し、十分な能力発揮の機会と的確な評価を大切にします。そして働きがいのある企業風土を培ってまいります。



代表取締役 会長
齋藤 一雄

代表取締役 頭取
深井 彰彦

編集方針

群馬銀行では、当行グループの概要、営業戦略の展開状況および経営基盤などについて、財務情報と非財務情報の両面からステークホルダーの皆さまに簡潔にご説明するため、「群馬銀行レポート2020（統合報告書）」を作成しました。

編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC）が2013年12月に発表した「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参照しています。

なお、本統合報告書は、当行の「ディスクロージャーポリシー」に則り、適切に作成・開示されていることを経営陣等が確認しています。

報告対象

期間：2019年度（2019年4月～2020年3月）
2020年4月以降の情報も一部含む。
範囲：株式会社群馬銀行および子会社等
（群馬銀行グループ）

発行時期

2020年7月

本報告書は、銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌（業務及び財産の状況に関する説明書類）の本編を兼ねています。ディスクロージャー誌としてご利用の際には、本報告書ならびに「群馬銀行レポート2020（資料編）」をあわせてご参照ください。

また、本報告書には、当行および当行グループの財政状態や経営成績に関して、「将来の業績に関する記述」が含まれています。これらの記述は、本資料作成時点における入手可能な情報および将来の業績に影響を与える予測や一定の前提（仮定）等を基にしており、さまざまなリスクや不確実性を内包しているため、当行および当行グループの将来の業績を保証するものではありません。

お問い合わせ先

株式会社群馬銀行
総合企画部広報室

〒371-8611
群馬県前橋市元総社町194
TEL.027-252-1111（代表）